

令和9年度科学研究費助成事業 学内応募要領

〔基盤研究（A・B・C）、挑戦的研究（開拓・萌芽）、若手研究〕

※本紙では、応募に係る重要な事項を取り上げて説明しています。詳細については、日本学術振興会 科学研究費助成事業HPの公募情報に掲載されている「令和9（2027）年度科研費公募要領」等もあわせてご覧ください。

公募情報→https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/kiban.html

※「科研費電子申請システム（＝e-Rad）」のログイン用ID・パスワードが不明の方は、研究・連携推進課研究協力係（以下、研究協力係）へご連絡ください。

※「若手研究」に応募予定で「博士の学位取得日」が未登録の方は、学位記の写しを研究協力係へ提出してください。

※「若手研究」では、令和7年度公募から応募要件に「未就学児の養育期間」が配慮期間として追加されました。詳細は公募要領を参照してください。該当する方は、応募時に研究協力係にメールにて、**子の出生日と研究者の関係性が分かるもの**を提出してください（例：住民票の写し、資格確認証の写し）。なお、住民票の写しを提出する場合は、**発行日より6ヶ月以内のもの**としてください。

1. 応募資格について

本学では、以下の者が応募できます（競争的研究費の応募資格に関する申合せ）。

大学の常勤教員、特任教員（I種）、定年退職教員※1、名誉教授※2、個人研究員、学振特別研究員

※1 在職中からの継続課題及び在籍中に新規応募し採択された課題に限る。

※2 在職中からの継続課題及び在籍中に新規応募し採択された課題並びにこれらの研究期間中に新規応募し採択された課題に限る。

2. 令和9年度公募スケジュール及び主な変更点について

別紙1をご覧ください。

3. 研究計画調書等の学内提出期限・方法について

(1) 「研究計画調書（PDFファイル）」の提出

提出期限：令和8年8月17日（月）

① 日本学術振興会HPの公募情報から「研究計画調書（添付ファイル項目（Word）」様式をダウンロードして作成する。様式DL→https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/kiban.html

② 科研費電子申請システムの「研究者ログイン」からログインして「Web入力項目」を入力する。

研究者ログイン→<https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

③ ①で作成した「添付ファイル項目（Word）」を科研費電子申請システムにアップロードして「研究計画調書（PDFファイル）」を作成する。

この時点では、科研費電子申請システム上の「確認完了・提出」処理は行わないでください。

※アップロード時のPDF変換で、稀にレイアウトが変わりページ数超過のエラーが発生する場合があります。その場合はあらかじめ「添付ファイル項目」をPDFファイルにした上でアップロードしてください。

- ④ ③で作成した「研究計画調書（PDF ファイル）」を、「**東京学芸大学科学研究費 Web**」の「**提出窓口**」から提出する（Microsoft Forms による提出）。

科研費 Web→<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~gakugai/h21top/index.html>

今年度から学内提出方法を変更しました。メールでの提出は受け付けませんのでご注意ください。

(2) 科研費電子申請システムによる「確認完了・提出」

期限：令和8年9月8日（火）

研究協力係での確認作業後、修正の有無及び「確認完了・提出」処理の可否についてご連絡します（令和8年8月28日（金）頃）。その連絡を受けた後「確認完了・提出」処理を行ってください。

4. e-Rad 研究インテグリティに係る情報の入力について

e-Rad において、研究代表者及び研究分担者が所属機関への研究インテグリティに係る誓約状況を登録していない場合は応募できません。操作方法は別紙2をご参照ください。

5. 研究倫理教育の受講について

研究代表者及び研究分担者は、交付申請前までに所属機関が実施する研究倫理教育を受講しなければなりません。本学では、5年に一度「APRINe ラーニングプログラム」の受講を義務付けており、本学を所属機関とする研究代表者及び研究分担者で、令和7（2025）年度以降、以下のコースのいずれかを受講していない者は、交付申請前までに受講する必要があります。

- ・東京学芸大学標準コース（人文社会科学系）10 単元
- ・東京学芸大学標準コース（理工系）10 単元
- ・東京学芸大学標準コース（医学系）10 単元

6. 科研費の助成を受けて執筆した論文のオープンアクセス化の推進について

日本学術振興会では、政府方針に沿って、科研費による学術論文及び根拠データは査読付き学術雑誌に掲載された後、即時にオープンアクセスにすることを義務付けています。詳しくはこちらをご覧ください。

https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/08_openaccess/index.html

東京学芸大学リポジトリへの掲載についてはこちらをご覧ください。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/oa>

なお、科研費では採択期間中、直接経費から研究成果発表のための論文投稿料・掲載料を含む、オープンアクセス化のための費用（APC）を支出することが可能です。（費目「その他」）

(参考) 科研費公募要領等に関する学内説明資料について

「東京学芸大学科学研究費 Web」>「研究計画調書を作成する前にご覧ください。」をご参照ください。

科研費 Web→<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~gakugai/h21top/index.html>

【担当】

(応募に関すること)

研究・連携推進課 研究協力係

Mail : kakenhi(a)u-gakugei.ac.jp

(研究倫理教育の受講に関すること)

研究・連携推進課 研究推進係 研究倫理教育（APRIN）担当

Mail : koutekis(a)u-gakugei.ac.jp

(論文のオープンアクセス化・東京学芸大学リポジトリに関すること)

学術情報課 アーカイブ室アーカイブ係

Mail : archive(a)u-gakugei.ac.jp

＜令和 9 (2027) 年度公募における主な変更点等＞

(1) 公募スケジュールについて

○令和 8 (2026) 年度に公募を実施する令和 9 (2027) 年度科研費（「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金」については令和 8 (2026) 年度科研費）の今後の主な公募スケジュールについては、以下を予定しています。

令和 9 (2027) 年度科研費公募スケジュール（予定）（※ 1）

研究種目名（※ 2）	公募開始	公募締切	審査結果通知 （※ 3）	交付内定（※ 4）
特別推進研究	令和 8 年 4 月 10 日	令和 8 年 6 月 16 日	令和 9 年 1 月上旬	令和 9 年 4 月上旬
基盤研究（S）	令和 8 年 4 月 10 日	令和 8 年 6 月 16 日	令和 9 年 2 月中旬	令和 9 年 4 月上旬
学術変革領域研究 （A・B）	令和 8 年 4 月 10 日	令和 8 年 6 月 16 日	令和 9 年 2 月中旬 (令和 8 年 9 月下旬（※ 5）)	令和 9 年 4 月上旬
学術変革領域研究 （A）（公募研究）	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 2 月中旬	令和 9 年 4 月上旬
基盤研究（A・B・C）、 若手研究	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 2 月 26 日	令和 9 年 4 月上旬
挑戦的研究 （開拓・萌芽）	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 6 月 30 日 (令和 9 年 2 月下旬（※ 5）)	令和 9 年 6 月 30 日
奨励研究	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 1 月 29 日	令和 9 年 4 月上旬
研究成果公開促進費	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 3 月下旬	令和 9 年 4 月上旬

令和 8 (2026) 年度科研費公募スケジュール（予定）（※ 1）

研究種目名（※ 2）	公募開始	公募締切	審査結果通知 （※ 3）	交付内定 （※ 4, 6）
研究活動スタート 支援	令和 8 年 3 月 1 日	令和 8 年 5 月 8 日	令和 8 年 7 月 31 日	令和 8 年 7 月 31 日
国際先導研究	令和 8 年 1 月 9 日	令和 8 年 3 月 13 日	令和 8 年 11 月下旬 (令和 8 年 5 月中旬（※ 5）)	令和 8 年 11 月下旬
国際共同研究強化	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 2 月下旬	令和 9 年 2 月下旬
帰国発展研究	令和 8 年 7 月 14 日	令和 8 年 9 月 17 日	令和 9 年 2 月下旬	令和 9 年 2 月下旬

※ 1 いずれも新規応募課題についての日程です。

※ 2 上記以外の研究種目の日程については、各公募要領等を御確認ください。

※ 3 新規応募課題の採否について交付内定前又は交付内定と同日に研究代表者に科研費電子申請システムを通じて通知します。

なお、審査結果通知を受け取り「採択」とされた場合、研究開始の事前の準備は可能となりま

すが、必要な契約等は従前どおり交付内定後（国際共同研究強化と帰国発展研究については交付申請後）に行ってください。

- ※4 予算成立の状況等によっては、交付内定時期が変更されることがあります。
- ※5 括弧内は「事前の選考」の審査結果通知の時期です。
- ※6 帰国発展研究については、「条件付き交付内定」を行います。

（２）挑戦的研究（萌芽）と基盤研究（Ｃ）の重複制限緩和について

- 若手研究者支援を更に充実させるため、39歳以下を対象として挑戦的研究（萌芽）と基盤研究（Ｃ）との重複応募・受給制限を緩和します。なお、重複制限の緩和については、今後の応募状況を踏まえ、審査負担や審査の実効性を考慮しつつ、研究者としてのキャリア形成等にも配慮し、対象範囲を検討していく予定です。

（３）挑戦的研究（開拓）の審査方式の見直しについて

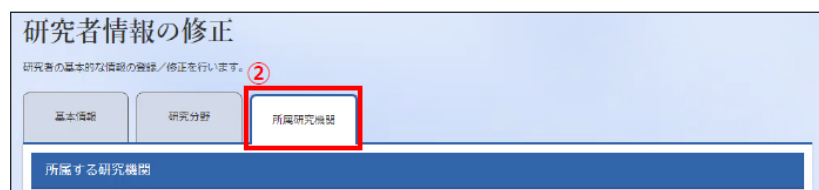
- 挑戦的研究（開拓）の審査方式を見直し、「２段階書面審査」で行います。

（４）挑戦的研究（萌芽）から挑戦的研究（開拓）への接続強化（「過去の採択研究課題からの発展性」の確認及び「研究計画最終年度前年度応募」の導入）について

- 「挑戦的研究（開拓）」の公募・審査において、過去に採択された「挑戦的研究（萌芽）」からの発展性を確認することとします。また、挑戦的研究（萌芽）で採択された研究課題について、最終年度前年度に挑戦的研究（開拓）に新たに応募することができる「研究計画最終年度前年度応募」を導入します。それに伴い、公募要領、研究計画調書及び、審査及び評価に関する規程に関連の記述・様式等が追加されます。

e-Rad ログイン→<https://www.e-rad.go.jp/> (ログイン ID・PW は科研費電子申請システムと同一です。)

<e-Rad 研究インテグリティに係る情報の入力>



操作手順

- ① e-Rad トップページ右上に表示されている研究者氏名のプルダウンより、【研究者情報の確認・修正】をクリック
- ② 続いて表示される「研究者情報の修正」の画面で【所属研究機関】タブをクリック
- ③ (1) e-Rad 外の研究費、(2) 兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等の記入欄に必要事項を入力
- ④ 必要に応じて【行の追加】をクリックして行を追加
- ⑤ ③の事項について適切に所属機関に報告をしていることを確認のうえ、「(3) 誓約状況」のチェックボックスにチェックを入れる
- ⑥ 「この内容で登録」ボタンをクリックする

e-Rad 外の研究費：下記(A)または(B)に該当する研究費
(A)：競争的研究費ではないもの
(B)：競争的研究費に該当するが e-Rad で応募を行っていないもの

注意

※⑤は必須となります。研究代表者及び研究分担者全員
チェックが入っていない場合、応募できません。

※科研費電子申請システムでは、e-Rad に登録された研究インテグリティに係る情報を連携しておりますが、連携に1時間以上要する場合があります。応募締切直前に登録しても連携されない可能性がありますので、時間に余裕をもってご登録ください。

(参考) e-Rad FAQ (「e-Rad 外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況」の記載ルールについて)

→<https://qa.e-rad.go.jp/records/420>